

<学校における新型コロナウイルス感染症防止対策の取組 2>

○ 保健教育

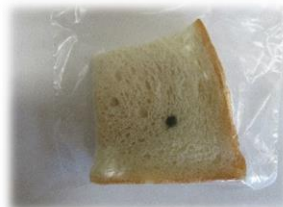
今年度の生徒朝会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインにて行い、「手洗いの大切さ」について発表をした。廃棄される予定だったパンを使用し、手洗いの方法別にカビの生え方を観察した。生徒は、手洗いをせずに触ったパンは、たくさんのカビが生えた結果を見て、しっかりと手を洗おうと思った生徒が多い様子だった。正しい手の洗い方として「あわあわ手洗いの歌」を使用している。



① 手洗いなし



② 水洗い



③ 石けん洗い



④ 触っていない



生徒と実験をしたが、うまくいくとたくさんのカビが生える
(写真は、手洗いせずに触ったもの)

○ 日々の消毒作業

毎日教職員が、放課後にドアノブや水道をアルコール消毒している。月に1回は抗菌作用のある液を塗布している。



○ 保健室経営

病人とけが人

病人と怪我人が、接触しないように対応している。病人は、ビニールの奥にパーティションで仕切られた中で対応している。病人用のベッドは人工皮革製でアルコール等で拭いて大丈夫なものを購入し、洗濯や除菌がすばやくできるようにしている。



○ 今後も、体調不良の生徒が校舎内に入ることがないように、昇降口で検温の確認をするなど、水際対策を徹底していく。また、黙食の徹底や学年で使う階段の仕分け等で他学年との接触を避けるなど、できるだけ接触する人数を減らすことでクラスターの発生を防いでいく。課題は、一部の生徒の感染対策の意識の低下である。マスクを外しているときに会話をしてしまったり、手洗いや消毒がおろそかになったりしている。引き続き、教員からの呼びかけと個別の保健指導を行い、生徒の感染対策の意識を高めていく。